

和歌山大学・高野山大学合同シンポジウム開催要項

「高野山から宇宙へ ～曼荼羅と現代宇宙論の対話」

趣 旨

今年夏、高野山と熊野古道の世界遺産登録が期待されています。高野山は、空海が持ち込んだインド密教の聖地であることは有名ですが、その教えの中心には、宇宙を照らす大日如来と、曼荼羅の宇宙が、しっかりとした体系で表現されています。密教の宇宙には、シルクロードを介して欧州の天文学の考えも導入されているなど、高野山は、当時としては、最先端の宇宙研究所であったと考えても過言ではありません。そこで、密教研究の権威である高野山大学学長、生井智紹氏と、現代宇宙論の世界的権威であり、みさと天文台の名誉台長を通じて、和歌山県や和歌山大学とも関係の深い、京都大学名誉教授(甲南大学教授)の佐藤文隆氏との対談を用意しました。高野山を宇宙からの視点で見つめ直すことで、和歌山の歴史、文化、観光に、1つの指針を示すことができると期待しています。

シンポジウム世話人代表

和歌山大学学生自主創造科学センター 尾久土 正己

共 催 和歌山大学・高野山大学・わかてん

後 援 和歌山県、和歌山県教育委員会、高野町、美里町

日 時 平成16年2月21日(土)午後2時～

会 場 ホテルアバローム紀の国

和歌山市湊通丁北2丁目1-2 Tel(073)436-1200

プログラム 司会進行 尾久土正己(和歌山大学教授)

本シンポジウムの意義について 小田章(和歌山大学長)

対 談 曼荼羅の宇宙 生井智紹(高野山大学長)

現代宇宙論 佐藤文隆(みさと天文台名誉台長)

質疑応答

講師の紹介

佐藤文隆氏(JAXAのスペース百科より)

「アインシュタインの重力方程式の新しい解を発見」

佐藤文隆(1938～)は、日本を代表する一般相対性理論の研究者です。山形県に生まれ、湯川秀樹にひかれて京都大学で物理学を学んだあと、1972～73年にかけて物理学者の富松彰とともにアインシュタインの重力方程式の新しい解を発見して、世界の注目をあびました。これはブラックホールについての構造を解明する計算式で「富松・佐藤解」とよばれています。世界の研究者のあいだでは、きわめてユニークな発見として大きな影響をあたえました。

1938年山形県生まれ。京都大学物理学科卒業。京都大学名誉教授、甲南大学理工学部教授。宇宙物理、一般相対論、膨張宇宙論を研究。学術論文は約140編にも及ぶ。73年仁科記念賞、75年松永賞、83年朝日学術奨励金、85年 First Award for Essay on Gravitation、99年紫綬褒賞受賞。日本学術会議会員、国立天文台、宇宙科学研究所評議員、湯川記念財団理事、京都大学出版会理事長、宇宙開発事業団客員研究員等多数をつとめる。また日本物理学会会長、『Progress of Theoretical Physics』の編集長もつとめた。

生井智紹氏（HP から）

生まれたのは、関東平野のど真ん中、筑波山のふもとの方です。高校入学までは理系を志していましたが、高校の古典や世界史の授業で、東洋人の心に大きな影響を与えている仏教を知りました。受験勉強はせず図書館に籠って仏教書を読みあさり、高野山大学一直線で、高野に登りました。

高野山大学に入学し、お寺で小僧さんを四年間しながら、学問としての仏教学を本格的に勉強しました。さらにそれを進めようと、京都大学の大学院で宗教学（仏教学）を専攻しました。その間、塾で古文の先生や、高野山大学、種智院大学で英語の非常勤講師などをして、学生さんとのおつきあいが始まりました。大学院終了後、母校である高野山大学に奉職することになりました。

その後、イギリスで語学研修をしたり、文部省の東南アジア派遣留学生として、インドのアーメーダバード L.D.インド学研究所で、ジャイナ教と仏教との交渉などの研究を致しました。その後、ずっと高野山大学で、学究と教育とにたづさわってきました。

特に、大乘論典に見られる仏教徒と唯物論者との対論を四半世紀に亘って研究してきましたが、その成果をまとめた「後期仏教徒による唯物論批判」と題した学位請求論文に対して広島大学より博士（文学）を授与されました。その成果は『輪廻の論証』と題して上梓されました。わたしにとっての仏教学の出発点となった『大日経』の菩提心思想研究から、密教文化研究所のプロジェクト研究「密教の形成と展開」の研究を経て、近年は、真言密教関係の思想を全仏教史的視点からまとめたいと思っています。

平成 15 年度からは、学長職に就きますので、教室での学生さんとのおつき合いが少なくなるのが寂しく思われます。人となりは、自分では見えないこともあります。典型的な日本人しかも仏教的な人間、と思っています。悪く言えば古い人です。墨守するものではありませんが「変わらないものは変わらない、変えてはいけない」という気持ちでいます。そういう意味では頑固な年寄り、といえます。

会場位置図



車・・・ 阪和自動車道「和歌山 I C」より約 20 分
JR 和歌山駅より約 10 分
南海和歌山駅より約 5 分
バス・・・「和歌山県庁前」バス停下車徒歩約 3 分

お問い合わせ

和歌山大学（担当：尾久土） 電話 073-457-8502

E-mail: okyudo@center.wakayama-u.ac.jp